

腎疾患生徒の進路、就職情況とその問題点

—第 1 報—

門脇純一、 星井桜子、 五十嵐千春、 島野由美、 安保 亘
工藤忠一*、 清水節子*、 加藤憲子*

国療西札幌病院に併設されている札幌市立山の手養護学校高等部を卒業した腎疾患を持つ生徒82名の進学、就職情況につき、卒業時点での調査をまとめ報告した。進学がほぼ4割、就職決定、職業訓練養成所と自宅療養・入院治療がそれぞれ約1割、未定、その他を合わせ3割弱となった。この断面調査を参考に、今後の追跡調査を行なう予定である。

腎疾患生徒、進路、就職情況

〔はじめに〕

私共の病院には病弱の養護学校が併設されている。養護学校は昭和31年9月1日、札幌市立琴似小・中学校の分教室として創設され、昭和33年分校となり、昭和38年山の手養護学校となった。高等部は昭和44年、真駒内分教室として開設、昭和47年札幌市に移管されて今日に至っている。

内科的疾患として当院へ入院してくる最も多いものは気管支喘息と腎疾患であったが、最近数年間はその他の疾患も増加してきて多様化し、上述の2疾患患者数はやや減少傾向を示している。

長期の治療と教育(療育)を受けた腎疾患を持つ生徒が卒業後どのような進路をとっているか、高等部卒業生を中心に進学情況、就職情況を今回は卒業時点で調査した断面成績につき報告する。

〔成績〕

昭和63年3月31日現在、卒業生合計は小学部；511名、中学部；559名、高等部；234名であった。腎疾患の中学部の卒業生は19名(昭和58～63年3月)で、うち16名は高校へ進学した。腎移植をうけた1女生徒は移植後5年4月、頭蓋内出血で死亡した。進学しなかった生徒には精薄の合併で施設に入所した1名と、自宅療養の1名とがあった。

高等部の腎疾患の卒業生は昭和63年3月31日現在、男；51名、女；31名、計82名があった。これら生徒を腎疾患の病種別にみると、ネフローゼ症候群；56名、慢性腎不全；13名、慢性腎炎；9名、その他；4名となっている。卒業生のうち、大学・短大入学者は33名で40.3%となった(表1)。職業訓練養成所に進んだ生徒は8名(9.8%)あった。就職が決定した生徒は9名(10.9%)と

国立療養所西札幌病院小児科

札幌市立山の手養護学校*

少なく(表2)、自宅療養・入院治療が9名(10.9%)、未定・その他を合わせて23名(28%)となった(表1、3)。

〔考按・まとめ〕

今回の報告は卒業時点での断面調査であるので、今後この経過追跡の作業が残され、重要な課題と考えている。

今後の調査内容としては次のようなことが挙げられる。すなわち大学へ進学した生徒達は病状が安定し順調に進級しているかどうか、進学できなかった生徒達はその後どうなっているか、

就職できた生徒達は順調に仕事に従事し継続しているか、仕事をする上で何か疾病に関連した問題に遭遇しなかったか、就職が決定しなかった生徒達のその後はどうなったか、進学、就職にあたっては偏見、その他困難な問題は無かったかなど、検討課題は山積している。

以上、卒業時点での腎疾患を持っている生徒の進路の概要を報告し、次年度以降の研究課題につき述べた。

札幌市立山の手養護学校卒業生の進路(高校生)

表1. 進 学

		大学・短大	各種学校	職業訓練	そ の 他	計
慢・腎	男	0	0	1	0	1
	女	1	1	0	0	2
ネ 症	男	13	4	2	3	22
	女	3	3	3	0	9
腎不全	男	2	2	2	2	8
	女	0	2	0	0	2
その他	男	0	1	0	1	2
	女	1	0	0	0	1
総 計	男	15	7	5	6	33
	女	5	6	3	0	14

表2. 就 職

		就 職	自営・家事従事	計
慢・腎	男	1	0	1
	女	0	0	0
ネ 症	男	2	0	2
	女	3	2	5
腎不全	男	0	0	0
	女	1	0	1
その他	男	0	0	0
	女	0	0	0
計		7	2	9

表 3. 療養・未定

		療養継続	自宅療養	未定	計
慢・腎	男	0	0	1	1
	女	0	0	4	4
ネ 症	男	0	5	7	12
	女	0	2	4	6
腎不全	男	1	0	0	1
	女	1	0	0	1
その他	男	0	0	1	1
	女	0	0	0	0
計	男	1	5	9	15
	女	1	2	8	11



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



国療西札幌病院に併設されている札幌市立山の手養護学校高等部を卒業した腎疾患を持つ生徒 82 名の進学、就職状況につき、卒業時点での調査をまとめ報告した。進学がほぼ 4 割、就職決定、職業訓練養成所と自宅療養・入院治療がそれぞれ約 1 割、未定、その他を合わせ 3 割弱となった。この断面調査を参考に、今後の追跡調査を行なう予定である。